

2022年11月9日
国立大学法人九州工業大学
株式会社 YE DIGITAL

九州工業大学と YE デジタル、DX に資する“高度専門人材育成”に向けて協力

2022年12月から工学府大学院生を対象に、AIを活用した社会課題解決を学習

共に北九州市に拠点を置く国立大学法人九州工業大学（本部：北九州市戸畑区 学長：三谷康範 以下、九州工業大学）および株式会社 YE DIGITAL（本社：北九州市小倉北区 代表取締役社長：玉井裕治、以下、YE デジタル）は、この度、文部科学省令和3年度補正予算事業を活用し、AI 技術を活用することで社会課題の解決・高付加価値化に導き、これからの産業界をけん引する“高度専門人材育成”に向けて、協力を行うこととなりました。2022年12月から大学院工学府の学生を対象に、講義および演習を行います。

■今回の背景

九州工業大学と YE デジタルは、2020年に北九州市を加えた3者で「オープンイノベーション人材の育成等に関する連携協定」を締結しています。今回はこの取り組みの延長線上で生まれたものです。高度な専門的知識の習得を行う工学府において、両者のシナジーにより、現場の課題視点で AI の活用で解決を図ること、そのために必要な手法などを学ぶことで、社会貢献を実現していく、DX に資する“高度専門人材”の育成を目指します。

■文部科学省補正予算事業について

文科省補正予算事業「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業 DX をけん引する高度専門人材育成事業」において、九州工業大学の「産業のマザー・テクノロジーの DX 化に資する人材の育成」の取り組みが採択されました。これまでの両者の関係を生かし、そのカリキュラムの1つとして、YE デジタルの経験・ノウハウを生かした演習科目を取り入れることになりました。

【ポイント】 現場の生の課題を、研究の場に！

技術を追求する工学府において、産業界で実装が進む YE デジタルの AI 画像判定サービスやその事例を学ぶことで、技術を現場の課題の視点で捉える経験を。



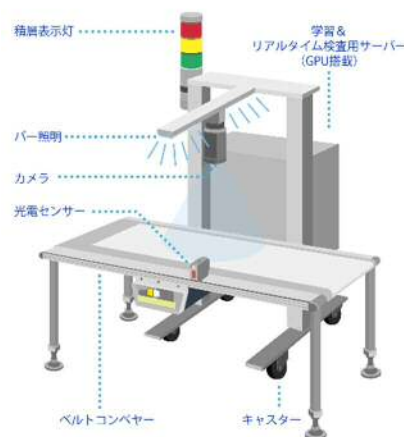
■演習科目：実践工学総合科目 C（AI 基礎と画像認識）

YE デジタルが提供する AI 画像判定サービス「MMEye Package Lab.」を用い、アルゴリズムのパラメータを調整しながら、コンベヤーに実際の対象物を流して AI で判定する“手触り感のある”実習や、評価・改良といった演習を行う。

< MMEye Package Lab. とは？ >

AI 画像判定の学習 & リアルタイム検査用サーバーに必要な機材をパッケージング。「分類」「物体検知」「セグメンテーション」「アノマリー検出」などのアルゴリズムを搭載し、撮像環境などもセットされていることから、異物混入検査、不良品判定、個数カウントといったさまざまな用途での AI 画像判定を簡単に試すことができます。

企業の R&D センターでの検証や高等教育機関での演習に最適です。



※ 記載されている会社名、商品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

本発表に関するお問合せ

国立大学法人九州工業大学 広報課
電話：093-884-3008 メール：pr-kouhou@jimu.kyutech.ac.jp

株式会社 YE デジタル マーケティング本部 広報部
電話：(093)522-6563 メール：press@ye-digital.com